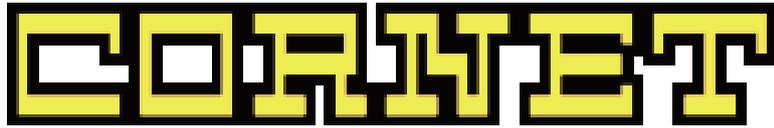


作成日

2020. 11. 02
No.305



発行

(株)秋山製作所
企画・デザイン室

コミュニケーション

近年、ブログや SNS などのソーシャルメディアが普及し、その利用者が増加しています。その中で、若年層を中心に、コミュニケーション行動が多様化し、人との対面コミュニケーションよりも、インターネットを介した機械的なコミュニケーションが好まれる傾向にあります。更にコロナ流行を機に、職場、学校、家庭、地域社会、消費など現場では、人と人の対面接触やコミュニケーションが SNS やメール、リモートなどに置き換えられ、社会のデジタル化が急速に進んでいます。反面、このことによって人々が疎遠を感じるようになった結果、人と人の対面接触やコミュニケーションの重要性が認識されるようにもなりました。在宅勤務になった夫が家にずっといるストレスで、夫婦仲が陰悪になりコロナ離婚が増加するのではと話題になっていますが、逆に夫婦の時間、家族の時間が増えたことを喜んでいる人も少なくないかと思えます。会話においてたとえ意見が違ったとしても、それぞれを攻めることなく互いに認め合えば絆が深まります。機械的なコミュニケーションが当たり前の時代になりましたが、少なからず夫婦、家族、また恋人においては、できる限り面と向かって会話をを行い“一緒にいてくれることのありがたみ”を実感しあうことが円満の秘訣であると思えます。家族との会話が多い子供は、社会的コミュニケーション能力が高くなるという話もありますが、皆さん!日頃家族とどれくらい会話していますか? (M. U)

イヤークフピアス

存在感があるピアスを片方の耳だけ着けるのが今どき



マスク姿が日常になっている今
出ているところでいかにオシャレするのがポイント
イヤークフが流行しているなか
クリスマス商戦にお勧めします!

6次産業

近年、健康志向の高まりとともに、「農家レストラン」や「体験農園」が注目を集め、地域の素材を生かした人気商品が多数登場しています。生産（1次産業）だけでなく、加工（2次産業）・販売（3次産業）を取り込む動きが広がっているのです。

6次産業という言葉は、1次産業・2次産業・3次産業の数字を掛け合わせたもので、産業の融合を図り、新たな価値を生み出すことを意味しています。農林水産省によると、この6次産業を通じて、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出し、農山漁村の所得の向上や雇用の確保を目指しているといいます。しかし、6次産業化して加工商品作ることがゴールではなく、それを広める方法も重要です。黒字化までに平均で4年以上かかるという調査結果も出ています。

それでも、農家の方は真心込めて作った商品の魅力を直接消費者に伝える事ができ、消費者もそれを知ることができるので安心ですね。このご時世、目に見える安心というのは、とても重要になりましたね。山梨県でも6次産業化は進んできているように思います。(N. K)



乳和食

乳和食とは、味噌や醤油などの伝統的調味料に「コク味」や「旨味」を有する牛乳(成分無調整牛乳)を組み合わせることで、使用されている食材本来の風味や特徴を損なわずに食塩や出汁を減らし、美味しく和食を食べてもらう調理法のことです。



牛乳には、高血圧の予防、メタボリックのリスク低減、健康寿命が長くなる、骨や歯、筋肉の健康を保つ、血糖値の上昇が緩やかになるという特徴があります。

日本人が好んで食べる伝統的な食事である和食は、米飯を主食に、主菜や副菜に魚介類や野菜類を多く使い、脂肪分も少ないことから、健康的な食事と考えられていますが、実は食塩の摂取量が増えてしまうという弱点があります。また、カルシウムも不足しがちになってしまいます。その弱点を埋めるのが牛乳の持つ「カルシウム」と「旨味」や「コク」なのだそう。

日本人が好んで食べる伝統的な食事である和食は、米飯を主食に、主菜や副菜に魚介類や野菜類を多く使い、脂肪分も少ないことから、健康的な食事と考えられていますが、実は食塩の摂取量が増えてしまうという弱点があります。また、カルシウムも不足しがちになってしまいます。その弱点を埋めるのが牛乳の持つ「カルシウム」と「旨味」や「コク」なのだそう。

牛乳をそのまま飲むのが苦手という人も、お味噌汁に牛乳!?と思う人も一度試してみてください。違和感なく取り入れられそうですよ!(N. K)